

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成30年10月4日 (2018.10.4)

【公開番号】特開2017-53704(P2017-53704A)

【公開日】平成29年3月16日 (2017.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-011

【出願番号】特願2015-177415(P2015-177415)

【国際特許分類】

G 0 1 C 19/5747 (2012.01)

H 0 1 L 41/113 (2006.01)

H 0 1 L 29/84 (2006.01)

H 0 1 L 41/04 (2006.01)

【F I】

G 0 1 C 19/56 2 4 7

H 0 1 L 41/113

H 0 1 L 29/84 Z

H 0 1 L 41/04

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月22日 (2018.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

一方、デカップリング回路を有さない物理量検出システムの構成例を図 2 に示す。図 2 に示す物理量検出システムは、図 1 に示す物理量検出システム 1 0 0 と、デカップリング回路を有さない点以外は同一の構成であり、第 1 の物理量センサー 1 1 0 と第 2 の物理量センサー 1 2 0 にも同一種類の物理量センサーを用いるものとする。そのため、第 1 の物理量センサー 1 1 0 の第 1 の駆動周波数 f_{d1} と、第 2 の物理量センサー 1 2 0 の第 2 の駆動周波数 f_{d2} にも、製造ばらつきによる僅かな差があるものとする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

そこで、本実施形態の物理量検出システム 1 0 0 は、 $f_{CL1} < f_{d1} < 3 \times f_{d1} < f_{CH1}$ になるような第 1 のバンドエリミネート周波数特性を有する第 1 のデカップリング回路 1 3 0 と、 $f_{CL2} < f_{d2} < 3 \times f_{d2} < f_{CH2}$ となるような第 2 のバンドエリミネート周波数特性を有する第 2 のデカップリング回路 1 4 0 とを用いる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 5】

そのため、図 1 0 の g 3 に示すように、このような同期検波後の検出信号に対して、フ

ィルター部 6 3 によるフィルター処理（ローパスフィルター処理）を行って、D C オフセットの不要信号 N S 1 と、機械振動漏れの不要信号 N S 2 を除去することができる。なお、図 1 0 の g 3 に示すグラフでは、L P F がローパスフィルターの減衰特性を示しており、この減衰特性は、グラフの右側に示す縦軸に対応している。グラフの右側に示す縦軸は、減衰率 A_{tt} の逆数（ $1 / A_{tt}$ ）を表す。